

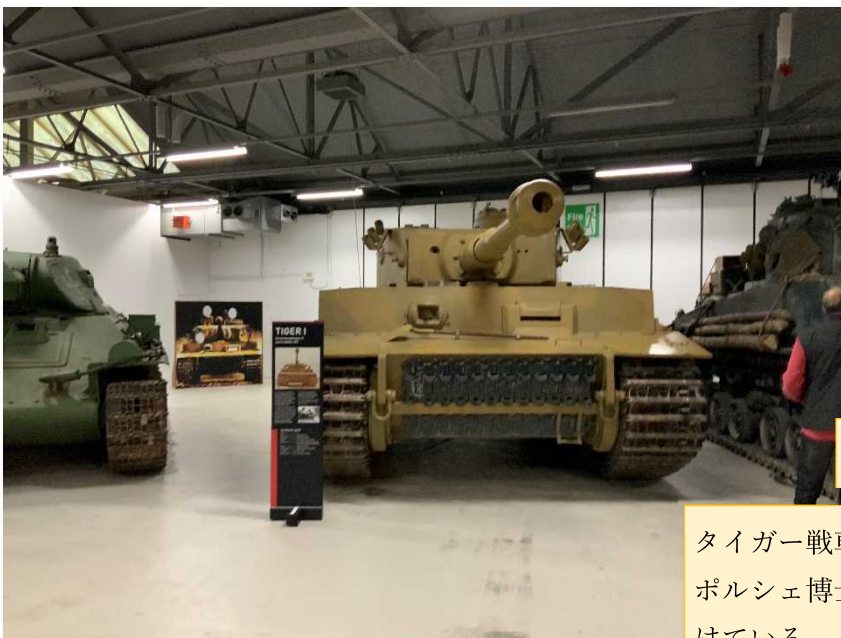
戦車博物館紹介③ (館内写真など)；第2次大戦中のドイツのタイガー戦車などの紹介

下図は私がショップで購入したパンフの裏表紙の館内マップです。



1階にもドイツのタイガー戦車はあるが2階にも TIGER COLLECTION がある。タイガー戦車などはプラモデル製作の好きな人なら (私もその1人だが) 一度は作った経験があるはずだと思う。

英国では3月22日13時54分です



タイガーの前でパチリと記念撮影。

タイガー戦車の開発には自動車のポルシェの産みの親であるポルシェ博士なども関わっている。タイガーの名前も彼が付けている。その他ベンツなども開発に関わっていた。





タイガー II 型

タイガーとも戦ったソ連の T34

タイガー I 型



画像が悪いが、タイガー II の前でパチリと 1 枚



タイガー II 型



タイガー I 型戦車の後ろ側



タイガー I 型戦車の前

キャタピラ

戦闘や移動中にキャタピラが破損した時のためにキャタピラを付けている。側面にもキャタピラを付けている。



ソ連の T34、正面から





ドイツのヤクート (JAGD) パンサー (Panzer) 型駆逐戦車 sdkfz173

ドイツ語のヤクートは狩りをするという意味。ドイツ語のパンサー (Panzer) は本来は鎧の意味だが、機甲、戦車の意味ともなっている。

この戦車の開発にはダイムラーベンツなどが関与している。



左の一寸可愛らしい形の戦車はイギリスが1928年にデザインした MARK E 余り活躍しなかったようだ。生産は200台弱と記載されている。



左の写真は第2次大戦中にソ連が使用していた SU76 自走砲。